第２１回　日野市保育の質ガイドライン策定委員会
―要点録―

１　日時場所等

（１）日　　時　令和８年８月２５日（火）午後２時００分～午後４時００分
（２）場　　所　日野市子ども包括支援センターみらいく連携活動室
（３）出席委員　井口眞美委員長、野原久代副委員長、石川星子副委員長、
児玉真理委員、荒川公重委員、木暮博委員、
わかくさ幼稚園：楠木はるか委員、飯田紗己
（４）欠席委員　なし
（５）事 務 局　子ども部保育課　飯野成路、堀口尚孝、森航太、小野早苗、筒井敬子

２　要点録

(1) 開会
・委員変更：わかくさ幼稚園の井上委員が退職され、代わって楠木春香委員・飯田紗己さんの 2 名が本日出席している。（終了後、楠木さんが委員と決定）

(2) 前回の振り返り
・第２０回策定委員会は、令和 8 年度最初の委員会。
・日野市保育の質ガイドライン第２版の策定にあたり、ガイドラインの内容をより充実したものとするため、幼稚園、認証保育所及び認可外保育施設における保育の実践事例等を追加することを検討し、事例を寄稿いただくためのテンプレートの検討や、依頼施設及び依頼内容の確認を行った。
・第２版策定に向けたスケジュールについて確認し、今後の進め方について検討した。

(3) 第２版策定スケジュール確認
【事務局より】
・前回提示した第２版策定に係るスケジュールについて、委員長及び事務局で再検討を行い、一部内容を変更したため報告があった。
８月２５日 事例紹介及び確認
模擬ワーキング
９月１８日　委員会とワーキング
ワーキング：趣旨説明、事例紹介（日野・多摩平幼稚園）、ワーク説明
一事例３０分　各グループ２事例ブラッシュアップ
※写真撮影：写真と名前を入れるので嫌な方については事前に事務局に言ってほしいということを伝えるように
策定委員会：ワークに少し出席してその後連携室で委員会を開催
１１月２４日　委員会及びワーキング　１５：００
委員会：ガイドライン本体の検討
ワーキング：事例のブラッシュアップ
１月２６日　ワーキングなし委員会のみ

ワーキング作業の確認、本体の確認、最終確認
２月　策定委員会最終原稿確認
３月　第２版発行予定

【意見交換（主な意見）】
・９月１８日、１１月２４日は、開始時間が変更になり１５：００開催１７：００終了。
・写真撮影および名前記載の確認をしたほうが良い。
・園名変更になったところについても知らせる。

（4）新規事例提出状況の共有
【事務局より】
・現在提出済みの事例４０事例（依頼４５事例）
・ぽかぽか保育園は２事例提出予定だが、ほか依頼した３事例は未提出の見込み。
・内容についてはある程度事務局で修正済み：項目に寄せた文言や言い回しの修正
足りない文字数を合わせ
キーワードや考察について　　など
◎写真の加工など今後検討していってほしい

（5）新規事例修正事項確認
全体的に構成の部分で…行頭文字の後の２行目以降の本文の開始位置について
揃えた方が良い
・漢字表記（一人ひとりなど）の統一→一人一人・達はひらがな
・教師・保育者などの呼称の統一→保育者
※第1版の表記統一一覧を参考に修正する。

≪事例について検討≫
・わらべ豊田南口保育園の事例について
ボルダリングの写真の依頼
ボルダリングではなくクライミングであると思う
０歳児に挑戦という言葉の使用に違和感がある。
0歳児何か月を入れてわかるとよい。（年齢の表記をきちんとする）
・金子ベビーホーム
コロナ禍という表記は第1版で使用しないことになっていたので感染症予防などに変更
「子どもの姿、思い」の枠の中の文章で「…様子を見たり、保育士に抱かれながら…」は、
「…様子を見たり、保育士に抱っこされたり」にしたほうが良い。（～たり、～たり）に変更
たまごプールの中で遊ぶ子ども達→たまごプールの中で遊ぶ子どもたち
コメントの中の“あそび”は、漢字表記
考察の中の興味を“持つ”は、ひらがな表記
・第三暁愛児園
“また”の表記はひらがなに統一
・えいせいかい保育園
タイトルの“四季”→“季節”にしたほうが良い

「子どもの姿」の中の文中“また“の後ろに句点がついているので読点に変更

・第二暁愛児園

「心掛けたこと」の中の文中“新しい環境になれ遊び…”は、漢字の“慣れ”に直した方が良い。

「心掛けたこと」の中の文中“楽しんだり”は、“楽しみ”に変更。

“子ども達”の“達”は、ひらがなに変更。

キーワードに“遊び”が多いので遊びを外す。

・百草台幼稚園

廃材の使用についてアレルギー児への配慮を【保育の経緯】の欄に付け足す。

【保育の経緯】の文中“大きなものを設定する”の表現について“大きな環境を設定する”に変更。

・日野台幼稚園

本文中（子どもの姿）に 4 歳児と入れてキーワードの 4 歳児は、はずす。

～たり、～たりで【子どもの姿】、【心掛けたこと】【保育の経緯】の各本文中、変更した方が良いところがあった。

考察の文中、手加減という表記を譲り合いながらに変更。

・欣浄寺みのり幼稚園

準備中の写真についての確認。

キーワードに“こどもかいぎ”を入れ、タイトルも「『こどもかいぎ』しよう！」に変更

【保育の経緯】の文中“困っている方を”というところを友達に直す。

・日野ふたば幼稚園

【ねらい・意図】箇条書きの「・（中黒）」以降の文章は、2 行目以降も 1 文字下げ文頭を揃える。

【ねらい・意図】の本文中“共同性”の表記はこれでよいか？（確認事項）（1：01：007）

タイトル「もう自分たちだけで川が作れるよ」の“もう”がいらないのではないか？

（「自分たちだけで川が作れるよ」もしくは、「自分たちで作れるよ」）

・光塩日野幼稚園

キーワードについて文字のフォントと間隔をそろえた方が良い

タイトル“まわり”は、なしで身近な環境に変更

考察の文中“考えられる”は、違う言葉のほうが良い

必要の文字が多い

心掛けたことはもう少し具体的に記載した方が良いのときっかけを与えたという表現ではなく用意したという表現で。

考察の句読点のつけ方を修正

【保育の経緯】一行目：“物知り”をなくし、積極的に発言する子のほかの子たちにも良い意味で競争心が出始めた。

3 行目：子どもたち同士で「すごいね」と認めたり教えあったりしていた。

・日野・多摩平幼稚園

カワセミさんの文章の変換がおかしくなっているので修正する。

保育の経緯について体裁を整える。

子どもの姿の文章から「窓をける」の表記を修正する。

・京王キッズプラッツ

卵アレルギー限定のような内容なのでキーワードを直した方が良いにでは、

ないか？（卵アレルギーとする）

・杉野幼稚園

【ねらい・意図】の文中、自身となっているが自信に直す。

【保育の経緯】文中の文字“真似る”は、ひらがな表記

・しらゆり幼稚園

【ねらい・意図】野菜や食材への…あとが開いているので体裁を直す。

※今回はここまでとし、ワーキングにかける。

次回残りの事例をやっていく

（6）**専門部会（ワーキンググループ）の模擬ワーク**

【事務局より】

・来月９月１８日に予定しています令和８年度第１回専門部会(ワーキンググループ)実施に向けて、どういうことをやるのかを共有するため、策定委員会で１度模擬にて事例の意見交換及びブラッシュアップ作業を行う。

・手順説明

・今回模擬をする事例は、事務局で選び、暁愛児園さんの「親子遠足」です。

【意見交換（主な意見)】

・まとめの時間は、グループ内での確認時間にするとよい（ワークシートのまとめ）

・水色付箋の内容をまとめる時間にしたほうが良い。

・事例については、あらかじめ配布する。

（7）**次回策定委員会について**

・次回、第 22 回策定委員会は第１回ワーキンググループと同日開催。

９月１８日（金）　１５：００～１７：００

・前半はワーキンググループの視察、後半は、連携活動室で策定委員会を行う。

・集合は、３階の多目的室。

（8）**閉会**

以上